震災を踏まえ大津波対策を盛り込む

平成23年度登別市総合防災訓練

10/20

10月20日㈭、総合防災訓練（登別市防災会議主催）が、北海道曹達㈱幌別事業所敷地をメーン会場に、自衛隊や警察、町内会など34機関から約650人が参加し、行われました。

当日は、『大雨による道路冠水や土砂崩れ』と『震度5弱の地震・大津波警報の発表』を想定し、関係機関によるがれき撤去や救出救護など19の訓練を実施。大津波を想定した避難訓練では、サイレン遠隔吹鳴装置で避難指示が出されると、参加した住民は、互いに声を掛け、助け合いながら高台の避難場所へ向かうなど、真剣に取り組んでいました。

▲大津波を想定した避難訓練

登別市民に白石市から感謝

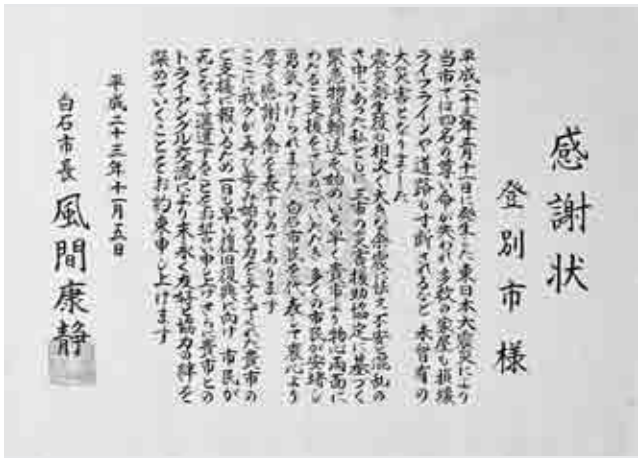
災害援助に対する感謝状の贈呈

11/5

11月5日㈯、姉妹都市、宮城県白石市で行われた『第33回白石市農業祭』（白石市・JAみやぎ仙南主催）で白石市の風間康静（かざまこうせい）市長から小笠原市長へ、東日本大震災の復旧・復興に関する感謝状が手渡されました。

市は、白石市、神奈川県海老名市と『危機災害時における相互応援に関する協定』を結んでおり、東日本大震災発生直後から海老名市とともに復興支援を続けてきました。

感謝状では「物心両面にわたる支援に多くの白石市民が安堵し勇気付けられた」と、登別市民に対する感謝がつづられています。



▲白石市から送られた感謝状

市民便利帳と電話帳が一冊に

市民便利帳と電話帳の共同制作に関する協定締結式

10/28

10月28日㈮、市とNTT番号情報㈱は、市民の皆さんの利便性の向上を図るため、道内初の試みとして、市民便利帳と電話帳の合冊版を共同で制作することに合意し、協定の締結式を行いました。

市は、これまでも主に転入者を対象に市民便利帳を制作し配布してきましたが、市民サービスの向上と地域の活性化につながる情報紙の制作を検討してきました。

また、NTT番号情報㈱でも、電話帳の新たな編集形態を検討していたことから、双方の意見が一致し今回の合意に至りました。

この合冊版には、職業別電話帳の『タウンページ』と50音別電話帳の『ハローページ』（企業分のみ）、暮らしに役立つ情報のほか、活気あふれるまちの様子を紹介する特集記事を掲載し、平成24年6月に全戸配布する予定です。

▲協定を締結したNTT番号情報㈱北海道営業本部長の西村和己（にしむらかずみ）さん（左）と小笠原市長